

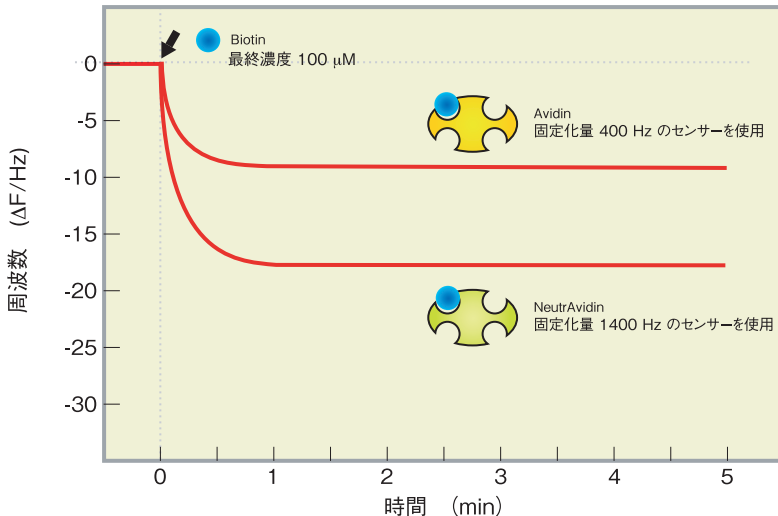
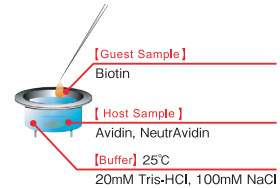
タンパク質への低分子の結合

材料

1. Avidin ※ M.W. 67,000
2. NeutrAvidin (PIERCE社製 No.31000) ※ M.W. 60,000
3. Biotin ※ M.W. 244

結果

1. Avidin類とBiotinの結合を高感度に検出
2. 固定化量が増えると低分子の結合量も増大
※QCM基板への固定化量はNeutrAvidinの方がAvidinより約3倍ほど多かった。それにより低分子の結合量も比例して多くなった。



応用

1. 高分子化合物を固定化した時の、低分子の検出
2. 薬剤の結合挙動やスクリーニング、色素の吸着量評価
3. 低分子の固定化(有機溶媒キャスト膜法など)を利用したタンパク質の結合解析